

本資料は、アストラゼネカ本社 AstraZeneca PLC が2022 年 11 月 10 日に発表した、[2022 年第3 四半期及び YTD 業績発表プレスリリース](#)を抜粋し、日本語に翻訳したものです。発表の内容及び解釈については英語本社発表版が優先します。

AstraZeneca PLC

公開日時：2022 年 11 月 10 日午前 7 時（英国標準時）

アストラゼネカ、2022 年第 3 四半期及び YTD（年初来）業績 ～過去最高の薬事承認件数及び好調な業績によりガイダンスを上方修正～

売上高及び EPS サマリー

	2022 年 YTD			2022 年第 3 四半期		
		増減 (%)			増減 (%)	
	100 万ドル	実質	CER ¹	100 万ドル	実質	CER
- 製品売上	32,200	29	35	10,590	9	16
- 提携収入	944	>2x	>2x	392	>3x	>3x
総売上高	33,144	30	37	10,982	11	19
報告ベース ² EPS ³	\$1.54	>4x	>4x	\$1.06	n/m	n/m
コア ⁴ EPS	\$5.28	47	52	\$1.67	55	70

2022 年 YTD 業績（CER ベース伸び率及びコメント ⁵）

- 総売上高は、全疾患領域における成長及び 2021 年 7 月 21 日からアレクシオン医薬品の売上が加わったことにより、37%増の 331 億 4,400 万ドル。
- MSD からのマイルストーン収入 ⁶を含むオンコロジー領域の総売上高は 24%増。オンコロジー領域の製品売上高は 20%増。R&I⁷領域の総売上高は 4%増、CVRM⁸領域は 19%増⁹、希少疾患領域は 10%増⁹。
- コア売上総利益率は、バキスゼブリアの初期契約からの減収とスペシャルティケア医薬品のシェア拡大を反映し、CER（恒常為替レート）ベースで 6 パーセンテージポイント増の 81%。（*経常的な収益性を示す指標として、当社では営業利益から非経常的な要因により発生した損益を控除し算出したコア営業利益を開示）
- コア総営業費用は、アレクシオンが加わり、長期的な持続的成長を実現するための新製品及びパイプラインへの継続的な投資を反映し 26%増。
- コア営業利益率は、有利なフェージング製品ミックスの恩恵を受け、CER ベースで 6 パーセンテージポイント増の 32%。
- コア EPS は 52%増の 5.28 ドル。
- 2022 年度コア EPS（恒常為替レートベース）は、前回ガイダンスの「20%台半ばから 20%台後半の増加率」から「20%台後半から 30%台前半の増加率」になる見込みです。実際の為替レートでは、2022 年度コア EPS の増加は、前回ガイダンスで記載した「1 桁台半ばの為替による逆風 ¹⁰」に対して、「1 桁台半ばから後半の為替による逆風」の影響を受ける見込みです。

前回の業績から達成した主なマイルストーン

- **主要データの公表**： danicopan の PNH-EVH¹¹（ALPHA）及びカピバセルチブの HR 陽性転移性乳がん 2 次治療（CAPItello-291）に対する良好な第 III 相試験の結果。

- **主な承認**：2022 年上半期主要市場で 19 の承認を取得。米国におけるエンハーツに対する HER2¹² 低発現転移性乳がん（DESTINY-Breast04）及び進行性 NSCLC¹³（DESTINY-Lung02）、*Imjudo* 及びイミフィンジの併用療法に対する進行肝がん（HIMALAYA）、イミフィンジに対する進行胆道がん（TOPAZ- 1）の承認を取得。欧州における RSV¹⁴ 下気道感染症予防のための *Beyfortus* の承認（MELODY/MEDLEY）、欧州及び日本における gMG¹⁵ のユルトミリス（CHAMPION-MG）、重症喘息の *テゼスパイア*（NAVIGATOR）、*リムパーザ* に対する早期乳がんの承認（OlympiA）を取得。
- その他の主なマイルストーン：*リムパーザ* に対する転移性去勢抵抗性前立腺がん（PROpel）の 1 次治療薬として米国で優先審査。

最高経営責任者（CEO）パスカル・ソリオのコメント

「アストラゼネカは、前回の業績発表以降、19 の主要な薬事承認を得ており、研究開発への持続的な投資の効果が引き続き現れています。

これまでの好調な業績を受け、当社は 2022 年通年のコア EPS ガイダンスを引き上げました。さらに、いくつかのパイプライン・プログラムで最近得られた有望なデータにより、さらなる後期臨床試験を進める自信を高め、引き続き成長戦略の実現に注力してまいります。また、国連気候変動枠組条約第 27 回締約国会議（COP27）において、当社は、ネットゼロ社会の実現に向けて加速していくことを発表したことを強調したいと思います。世界にとってますます重要となるこの目標の達成に向け、当社は率先して実行してまいります」。

ガイダンス

当社は、これまでの好調な業績を受け、2022 年度のガイダンスを CER で更新しました。2022 年度のコア EPS のガイダンスレンジは、20%台後半から 30%台前半に引き上げられ、このレンジ内での最終結果は、*エバシエルド* の納入タイミングと薬事規制に関連する共同開発のマイルストーンに左右されることになります。

実際の為替レートでは、2022 年度の総収入の伸びは 1 桁台半ばの為替の逆風による影響を受け、2022 年度のコア EPS の伸びは 1 桁台半ばから後半の為替の逆風による影響を受けると予想しています（下記「為替の影響」参照）。

総売上高は 20%台前半の増加の見込み（変更なし）
コア EPS は 20%台後半から 30%台前半の増加の見込み
（従来は 20%台半ばから後半の増加）

損益計算書のその他の要素は、当社の 2022 年上半期業績発表（2022 年 7 月 29 日）で発表された内容とほぼ同じになると予想されます。

アストラゼネカは、地政学的及びサプライチェーンの不確実性が業績全体に影響することを引き続き認識しています。四半期ごとの業績のばらつきは今後も続く予想されます。

アストラゼネカは、買収に関連する負債に生じる公正価値調整、無形資産減損費用、訴訟和解引当金など報告ベースの業績の重要な要素を信頼性をもって予測できないため、当社は報告ベースのガイダンスを提供することはできません。本発表の最後にある将来予測に関する注意事項を参照してください。

為替の影響

上記のガイダンスにおける成長率は、2021年までの平均為替レートに基づく CER ベースで表示しています。

仮に 2022 年 11 月から 12 月の為替レートが 2022 年 10 月 31 日時点のスポットレートと同じだった場合、2022 年度の総売上高は CER ベースの業績に対して 1 桁台半ばの悪影響を、2022 年度のコア EPS は 1 桁台半ばから後半の悪影響を受けると予想しています（従来は 1 桁台半ばの悪影響）。

Table 1: 2022 年第 3 四半期総売上高のパフォーマンスの主な要素

売上項目	100 万ドル	増減 (%)		
		実質	CER	
製品売上	10,590	9	16	・ オンコロジーとバイオ医薬品の売上が好調 ・ アレクシオンの医薬品が 17 億 3,400 万ドル
提携収入	392	>3x	>3x	・ エンハーツが 1 億 6,000 万ドル（2021 年第 3 四半期：5,200 万ドル） ・ テゼスパイアが 2,600 万ドル（2021 年第 3 四半期：0 ドル） ・ リムパーザが 7,500 万ドル、ネキシウムが 6,200 万ドル、tralokinumab が 4,000 万ドルのマイルストーンを獲得
総売上高	10,982	11	19	

疾患領域	100 万ドル	実質	CER	
オンコロジー	4,039	20	27	・ 主要な医薬品及び地域で良好な業績
CVRM	2,351	11	18	・ フォシーガの売上高は 11 億 300 万ドルで、3 四半期連続のブロックバスターを達成
R&I	1,499	1	5	・ ビレーズトリ及びファセンラの成長が、主に中国における VBP ¹⁶ 実施及び COVID-19 ロックダウンの影響によるパルミコート ¹⁷ の 33%（CER で 31%）の減少を相殺
V&I ¹⁷	878	(29)	(24)	・ パキスゼブリア ¹⁸ が 1 億 8,000 万ドル（2021 年第 3 四半期：10 億 5,000 万ドル） ・ エバシエル ¹⁹ が 5 億 3,600 万ドル（2021 年第 3 四半期：0 ドル）
希少疾患	1,741	4	11	・ 37%増加したユルトミリスが 5 億 1,800 万ドル（CER ベースで 47%）
その他医薬品	474	34	50	・ ネキシウムの提携収益マイルストーン 6,200 万ドルを含む。2021 年第 3 四半期のネキシウムの収益は、販売パートナーの移行によりマイナスの影響を受けた
総売上高	10,982	11	19	

バキスゼブリアを含む地域別売上	100 万ドル	実質	CER	
新興市場	2,856	(10)	(4)	・バキスゼブリアの売上減少による減収（バキスゼブリアを除く成長率を以下に記載）
- 中国	1,541	3	8	・2021 年第 3 四半期には、タグリッソンの在庫調整及び NRDL ¹⁹ 変更に伴う株式報酬のマイナスの影響を受けた
- 中国以外	1,316	(21)	(15)	・バキスゼブリアの売上減少による減収
米国	4,650	34	34	
ヨーロッパ	2,065	8	23	
既成市場（RoW）	1,412	7	26	
バキスゼブリアを含む地域別総売上高	10,982	11	19	

バキスゼブリアを除く地域別売上	100 万ドル	実質	CER	アレクシオン買収による医薬品の貢献
新興市場	2,826	13	20	・1 億 200 万ドル
- 中国	1,541	3	8	
- 中国以外	1,285	26	37	・1 億 200 万ドル
米国	4,650	34	34	・10 億 6,900 万ドル
ヨーロッパ	2,002	14	30	・3 億 5,100 万ドル
既成市場（RoW）	1,325	22	45	・2 億 1,200 万ドル
バキスゼブリアを除く地域別総売上高	10,803	23	31	・17 億 3,400 万ドル

Table 2: 2022 年第 3 四半期の財務パフォーマンスの主要要素

メトリクス	報告ベース	報告ベース増減	コア	コア増減	コメント ²⁰
総売上高	109 億 8,200 万ドル	実質 11% CER 19%	109 億 8,200 万ドル	実質 11% CER 19%	・詳細は Table 1 及び総売上高の項を参照
総利益率 ²¹	72%	実質 10 pp CER 11 pp	81%	実質 6 pp CER 7 pp	+ アレクシオン医薬品の追加 + オンコロジー領域の売上構成比の上昇 - プロフィット・シェアリング・アレンジメントによる影響（例: リムパーザ） - アレクシオンの在庫公正価値評価減による売上総利益率への影響
研究開発費	24 億 5,800 万ドル	実質 -32% CER -28%	23 億 5,700 万ドル	実質 10% CER 16%	+ アレクシオン医薬品の追加 + 後期臨床試験の追加により、パイプラインへの投資を拡大 ・2021 年第 3 四半期の報告ベースの研究開発費は 11 億 7,200 万ドルの減損費用を含む ・コア研究開発費の対総売上高比は 21%（2021 年第 3 四半期: 22%）
販売費及び一般管理費（SG&A）	42 億 7,700 万ドル	実質 5% CER 9%	31 億 6,000 万ドル	実質 10% CER 16%	+ アレクシオン医薬品の追加 + エバジェルトを含む、最近発売した製品の市場開拓活動 + コア SG&A 対総売上高比率は 29%（2021 年第 3 四半期: 29%）
その他の営業利益 ²²	1 億 600 万ドル	実質 >2x CER >2x	1 億 700 万ドル	実質 >2x CER >3x	・ロイヤリティ及び過去の取引による収入を含む
営業利益率	11%	実質 28 pp CER 30 pp	31%	実質 8 pp CER 9 pp	・売上総利益率及び経費のコメントを参照

金融費用 純額	3 億 2,400 万ドル	実質 1% CER 2%	2 億 5,400 万ドル	実質 16% CER 14%	+ 為替変動 + 変動金利負債に係る金利上昇 ・買収関連負債の割引戻しによる報告ベースの影響額を計上
税率	-78%	n/m	18%	実質 -3 pp CER -3 pp	・当四半期のコア税率 18%は、利益の地域構成と多くの主要国・地域の過年度税負担の有利な調整を反映したもの ・アレクシオン統合のための法人組織再編に起因する報告ベースで 8 億 8,300 万ドルの繰延税金控除の影響 ・税率の変動は四半期ごとに続く予想される
EPS	1.06 ドル	n/m	1.67 ドル	実質 55% CER 70%	・報告ベースとコアの差の詳細は Table 12 に示す

Table 2: 前回の決算発表以降のパイプラインのハイライト

イベント	製品	適応症/治験	イベント
薬事承認及びその他の薬事案件	タグリッソ	NSCLC (術後補助療法) (ADAURA)	薬事承認 (日本)
	イミフィンジ	胆道がん (TOPAZ-1)	薬事承認 (米国)
	イミフィンジ	肝がん (1 次治療) (HIMALAYA)	薬事承認 (米国)
	リムパーザ	gBRCA ²³ 乳がん (術後補助療法) (OlympiA)	薬事承認 (欧州、日本)
	リムパーザ	HRD ²⁴ 陽性進行性卵巣がん (1 次維持治療) (PAOLA-1)	薬事承認 (中国)
	エンハーツ	HER2 低発現乳がん (3 次治療) (DESTINY-Breast04)	薬事承認 (米国)
	エンハーツ	HER2m ²⁵ 非小細胞肺がん (2 次治療+) (DESTINY-Lung02)	薬事承認 (米国)
	カルケンス	マレイン酸塩錠剤の製剤	薬事承認 (米国)
	フォシーガ	CKD ²⁶ (DAPA-CKD)	薬事承認 (中国)
	テゼスパイア	重症喘息 (NAVIGATOR)	薬事承認 (欧州、日本)
	Beyfortus	RSV (MELODY/MEDLEY)	薬事承認 (欧州)
	エバシールド	COVID-19 (PROVENT/TACKLE)	薬事承認 (日本)
	エバシールド	COVID-19 (TACKLE)	薬事承認 (欧州)
	ソリリス	PNH 及び aHUS ²⁷	薬事承認 (中国)
	ユルトミリス	gMG (CHAMPION-MG)	薬事承認 (欧州、日本)
	コセルゴ	NF1-PN ²⁸ (SPRINT)	薬事承認 (日本)
薬事承認申請または受理	リムパーザ	前立腺がん (1 次治療) (PROpel)	優先審査指定 (米国)
	エンハーツ	HER2 低発現乳がん (3 次治療) (DESTINY-Breast04)	薬事承認申請 (中国)
	フォシーガ	HFpEF ²⁹ (DELIVER)	薬事承認申請 (米国、欧州、日本、中国)
	ユルトミリス	NMOSD ³⁰ (CHAMPION-NMOSD)	薬事承認申請 (米国、欧州、日本)
主な第 III 相データリードアウト及びその他の展開	カピバセルチブ	HR+/HER2 陰性乳がん (1 次治療) (CAPitello-291)	主要評価項目達成
	monalizumab	再発・転移性 HNSCC ³¹ (2 次治療) (INTERLINK-1)	有効性閾値未達成
	ファセンラ	EoE ³² (MESSINA)	2 つの主要評価項目のうち 1 つは未達成
	ソリリス	ギランバレー症候群	主要評価項目未達成
	danicopan	血管外溶血を伴う PNH	主要評価項目達成

コーポレート及び事業開発

2022年10月、アストラゼネカは、ゲノム医薬品のパイオニアである LogicBio Therapeutics, Inc. (NASDAQ : LOGC) を買収する最終契約を締結しました。この買収は、LogicBio の独自技術、経験豊富な希少疾患研究開発チーム、前臨床開発における専門知識によって、アレクシオンのゲノム医薬品の成長を急速に加速させることを目的としています。

サステナビリティの概要

アストラゼネカは COP27 に参加し、持続可能な市場のためのイニシアチブ (SMI) のヘルスシステムタスクフォースで、気候危機に取り組むための意義深いコミットメントを行い、企業が大規模な行動を推進するためのベンチマークを設定しました。コミットメントの一つとして、ヘルスケア分野の排出量の約 50% を占めるサプライチェーンの排出量にハイライトし、タスクフォースのメンバーは、共通のサプライヤー基準に基づき、共同でグリーン輸送手段を検討することを約束しました。また、患者さんのケアパスが医療排出量の約 45% を占めているため、ケアパス全体の排出量を測定するエンドツーエンドのケアパス排出量基準を構築するとともに、製品レベルのライフサイクルマネジメント評価データを調整・公開して、排出量の透明性を高めることをコミットしました。タスクフォースは、さらにデジタルヘルスソリューションを活用し、臨床試験の脱炭素化を図ることをコミットしました。

営業及び財務の概況

本セクションの成長及び業績に関する説明はすべて実際の為替レートに基づいており、財務数値は特に断りのない限り、100 万米ドル単位で記載されています。別段の記載がない限り、本発表で示された業績は、2021 年 9 月 30 日までの 9 カ月間 (YTD2021) と比較した 2022 年 9 月 30 日までの 9 カ月間 (「年度」または「YTD2022」)、あるいは 2021 年 9 月 30 日までの 3 カ月間 (Q3) と比較した 2022 年 9 月 30 日までの 3 カ月間 (「四半期」または「Q3 2022」) の実績を示しています。コア財務指標である EBITDA、ネット借入、CER、提携開始時収入及び継続提携収入は、当社グループの中間財務諸表から直接導き出すことができないため、非 GAAP 財務指標となっています。経営陣は、これらの非 GAAP 財務指標を報告ベースの業績と合わせて提供することにより、投資家やアナリストが当社グループの財務パフォーマンスやポジションを期間ごとに比較しながらより良く理解するために有用な補足情報を提供するものと考えています。これらの非 GAAP ベースの財務指標は、GAAP に準拠して作成された財務指標に代わるものでも、優越するものでもありません。コア財務指標は、以下のような特定の重要な項目を除外するよう調整されています。

- 無形資産の償却及び減損 (減損の戻し入れを含むが、IT 資産に関連する費用を除く)
- 構造改革プログラムに関連する費用及び引当金 (構造改革プログラムが資産化された IT 資産に与える影響に関連する費用、及びアレクシオン買収後のグループレビュー項目を含む)
- アレクシオン買収関連項目 (主に買収した棚卸資産の公正価値調整と従業員株式報奨の差し替えによる公正価値の影響)

- その他の特定項目、主に企業統合の偶発対価に関連する帰属金融費用、法的解決、アレクシオン統合のための社内組織再編から生じる一時的な繰延税額控除
- 上記の調整による税効果は、コア税金費用から除外されています。

コア財務指標の性質に関する詳細は、有価証券報告書及び Form 20-F Information 2021 の 54 ページに記載されています。

本発表の財務業績の項に含まれる「報告ベースの財務指標とコア財務指標の調整表」を参照してください。

売上総利益率は、製品売上高が売上原価を上回る比率であり、両者の差額を売上高で除して計算されます。報告ベースの売上総利益率及びコア売上総利益率の計算では、提携収入及び関連費用の影響は除外されており、それにより製品売上高の基礎的な業績が反映されています。

EBITDA は、金融費用、合併会社及び関連会社の業績、並びに減価償却費及び減損費用を控除した税引前利益と定義されています。本発表において、財務業績の欄に記載されている報告ベースの税引前利益から EBITDA への調整表が参照されています。

純負債とは、有利子負債及びリース負債から、現金及び現金同等物、その他の投資、並びに金融派生商品の純額を差し引いたものです。なお、本発表において、中間財務諸表注記事項のうち、注記 3「ネット借入」をご参照ください。

継続提携収入は、提携開始時収入（契約または取引の完了日に契約一時金に関して認識される提携収入）を除いた提携収入と定義されています。継続提携収入は、ロイヤルティ、マイルストーン収入及びプロフィットシェアリング収入等から構成されています。本営業・財務レビューについては、提携収入に関する表をご参照ください。

当社は、投資家及びアナリストの皆様が単一の財務指標に依存することなく、アストラゼネカの財務諸表（その注記を含む）及びその他の利用可能な当社報告書を注意深く全体的に検討することを強く推奨します。

四捨五入の関係で、本発表におけるいくつかのドル数値及びパーセンテージの合計は一致しない場合があります。

総売上高

Table 3: 領域別製品売上

	2022 年 YTD				2022 年第 3 四半期			
			増減 (%)				増減 (%)	
製品売上	100万 ドル	対製品 売上合計 (%)	実質	CER	100万 ドル	対製品 売上合計 (%)	実質	CER
オンコロジー	10,885	33	14	20	3,797	35	15	22
- タグリッソ	4,102	12	11	16	1,398	13	12	20
- イミフィンジ	2,031	6	14	19	737	7	19	26
- リムパーザ	1,949	6	13	19	659	6	12	19
- カルケンス	1,469	4	74	77	566	5	60	63
- エンハーツ	52	-	>5x	>5x	23	-	>4x	>4x

- Orpathys	34	-	>3x	>3x	11	-	11	16
- ゴラデックス	717	2	-	6	240	2	(4)	5
- フェソロデックス	259	1	(21)	(14)	81	1	(21)	(10)
- イレッサ	90	-	(39)	(37)	27	-	(35)	(31)
- アリミデックス	85	-	(20)	(16)	24	-	(28)	(23)
- カソデックス	63	-	(48)	(45)	21	-	(46)	(40)
- その他	34	-	(9)	(1)	10	-	(18)	(10)
バイオ医薬品: CVRM	6,907	21	13	18	2,348	21	11	19
- フォシーガ	3,204	10	49	58	1,101	10	38	50
- プリリンタ	1,013	3	(10)	(7)	338	3	(10)	(7)
- ロケルマ	208	1	71	80	79	1	59	69
- Roxadustat	148	-	2	4	57	1	4	9
- オンデキサ ⁹	111	-	7	14	41	-	5	17
- クレストール	824	2	(2)	4	277	3	(7)	-
- セロケン/Toprol-XL	705	2	(6)	(2)	238	2	2	10
- ビデュリオン	207	1	(29)	(28)	66	1	(30)	(29)
- オングリザ	205	1	(28)	(25)	66	1	(21)	(17)
- その他	282	1	(9)	(7)	85	1	(11)	(8)
バイオ医薬品: R&I	4,318	13	(3)	-	1,427	13	(4)	1
- シムビコート	1,919	6	(6)	(2)	630	6	(7)	(1)
- ファセンラ	1,015	3	13	17	353	3	10	15
- ビレーズトリ	282	1	>2x	>2x	103	1	>2x	>2x
- サフネロー	69	-	>10x	>10x	33	-	>10x	>10x
- パルミコート	479	1	(33)	(31)	145	1	(33)	(31)
- Daliresp	161	-	(5)	(4)	52	-	(4)	(3)
- ビベスビ	43	-	11	13	14	-	6	8
- その他	350	1	(21)	(20)	97	1	(36)	(33)
バイオ医薬品: V&I	3,607	11	51	59	873	8	(27)	(21)
- バキスゼブリア	1,713	5	(20)	(16)	173	2	(83)	(81)
- エバシエルド	1,451	4	n/m	n/m	537	5	n/m	n/m
- シナジス	384	1	>2x	>2x	104	1	(15)	(1)
- FluMist	59	-	(22)	(13)	59	1	(19)	(10)
希少疾患⁹	5,236	16	4	10	1,741	16	4	11
- ソリリス ⁹	2,918	9	(7)	(2)	901	8	(13)	(6)
- ユルトミリス ⁹	1,371	4	27	35	518	5	37	47
- ストレンジック ⁹	687	2	13	15	237	2	17	20
- コセルゴ	149	-	>2x	>2x	48	-	82	81
- カヌマ ⁹	111	-	6	11	37	-	1	5
その他医薬品	1,247	4	(4)	4	404	4	17	30
- ネキシウム	986	3	(1)	8	311	3	20	36
- その他	261	1	(12)	(10)	93	1	9	13
製品売上	32,200	97	29	35	10,590	96	9	16
提携収入	944	3	>2x	>2x	392	4	>3x	>3x
総売上高	33,144	100	30	37	10,982	100	11	19

Table 4: 提携収入

	2022 年 YTD				2022 年第 3 四半期			
	100 万 ドル	対合計 (%)	増減 (%)		100 万 ドル	対合計 (%)	増減 (%)	
			実質	CER			実質	CER
エンハーツ: 提携収入 ³³	332	35	>2x	>2x	159	41	>3x	>3x
テゼスパイア: 提携収入	42	4	n/m	n/m	26	7	n/m	n/m
リムパーザ: 薬事上のマイルストーン	250	26	n/m	n/m	75	19	n/m	n/m

Tralokinumab: 売上高マイルストーン	110	12	n/m	n/m	40	10	n/m	n/m
バキスゼブリア: ロイヤリティ	67	7	(19)	(22)	6	2	(87)	(87)
その他のロイヤリティ収入	54	6	-	-	18	5	(4)	(3)
その他の提携収入	89	9	(4)	12	68	17	>10x	>10x
合計	944	100	>2x	>2x	392	100	>3x	>3x

Table 5: 領域別総売上高

	2022 年 YTD				2022 年第 3 四半期			
	100 万 ドル	対合計 (%)	増減 (%)		100 万 ドル	対合計 (%)	増減 (%)	
			実質	CER			実質	CER
オンコロジー	11,493	35	19	24	4,039	37	20	27
バイオ医薬品 ⁹	15,078	45	16	21	4,728	43	(2)	4
- CVRM ⁹	6,927	21	13	19	2,351	21	11	18
- R&I	4,478	14	-	4	1,499	14	1	5
- V&I	3,673	11	49	56	878	8	(29)	(24)
希少疾患 ⁹	5,236	16	4	10	1,741	16	4	11
その他	1,337	4	(5)	3	474	4	34	50
合計	33,144	100	30	37	10,982	100	11	19

Table 6: 地域別総売上高

	2022 年 YTD				2022 年第 3 四半期			
	100 万 ドル	対合計 (%)	増減 (%)		100 万 ドル	対合計 (%)	増減 (%)	
			実質	CER			実質	CER
新興市場	9,013	27	5	8	2,856	26	(10)	(4)
- 中国	4,597	14	(2)	(1)	1,541	14	3	8
- 中国以外	4,415	13	13	20	1,316	12	(21)	(15)
米国	13,132	40	58	58	4,650	42	34	34
ヨーロッパ	6,429	19	24	37	2,065	19	8	23
既成市場 RoW	4,570	14	38	55	1,412	13	7	26
合計	33,144	100	30	37	10,982	100	11	19

Table 7: 地域別総売上高（バキスゼブリアを除く）

	2022 年 YTD				2022 年第 3 四半期			
	100 万 ドル	対合計 (%)	増減 (%)		100 万 ドル	対合計 (%)	増減 (%)	
			実質	CER			実質	CER
新興市場	8,262	25	10	15	2,826	26	13	20
- 中国	4,551	14	(3)	(2)	1,541	14	3	8
- 中国以外	3,711	11	33	44	1,285	12	26	37
米国	13,053	39	57	57	4,650	42	34	34
ヨーロッパ	6,104	18	37	52	2,002	18	14	30
既成市場 RoW	3,945	12	33	50	1,325	12	22	45
合計	31,364	95	35	42	10,803	98	23	31

注：

- 恒常為替レート（Constant exchange rates, CER）。実質増減と CER 増減の差は、2022 年対 2021 年の期間中の為替変動によるものです。CER 財務指標は、報告ベース業績から為替変動の影響を取り除くため、一般に公正妥当と認められた会計原則（GAAP）に基づく会計処理によるものではありません。
- 報告ベースの財務指標は、英国が採用している国際会計基準、国際会計基準審議会（IASB）が公表している国際財務報告基準（IFRS）及び欧州連合が採用している国際会計基準に従った財務結果です。

3. Earnings per share : 1 株当たり利益
4. コア財務指標は、特定の項目を除くために調整されています。報告ベースとコア財務指標との差異は、主にアレクシオン買収に関連する項目、無形資産償却費、減損損失、構造改革費用、及び既に開示したとおり、特定企業との和解に関連する引当金繰入額によるものです。この和解により、2022 年第 2 四半期に 7 億 7,500 万ドルが支払われました。報告ベース EPS とコア EPS の調整表は、本資料の業績セクションの Table 12 及び Table 13 に記載されています。
5. 2022 年度には、コセルゴの総売上は希少疾患（2021 年度：がん）に、オンデキザの総売上はバイオ医薬品：CVRM（2021 年 3 月期：希少疾患）に含まれます。各疾患領域の成長率は、これらの変更が 2021 年度に実施されたと仮定して計算しています。
6. アストラゼネカは、他社と提携し リムパーザの開発及び製品化を行っています。
7. Respiratory & Immunology : 呼吸器・免疫領域
8. Cardiovascular, Renal and Metabolism (CVRM) : 循環器・腎・代謝領域
9. アレクシオンの医薬品の 2022 年 YTD の成長率は、前年同期との比較によりプロフォーマベースで計算されています。2022 年第 3 四半期の成長率は、買収前と買収後の業績をカバーする前年の対応する 92 日間の期間と比較して計算されています。希少疾患領域と CVRM 領域の成長率は、これらのプロフォーマ調整を含んで表示されています。
10. 2022 年度業績への為替変動の影響については、2022 年 11 月から 12 月までの為替レートが 2022 年 10 月 31 日のスポットレートと同じであることを想定しています。
11. Paroxysmal nocturnal haemoglobinuria with extravascular haemolysis : 血管外溶血を伴う発作性夜間血色素尿症
12. Human epidermal growth factor receptor 2 : ヒト上皮成長因子受容体 2
13. Non-small cell lung cancer : 非小細胞肺癌
14. Respiratory syncytial virus : 呼吸器系シンシチアルウイルス
15. Generalised myasthenia gravis : 全身性重症筋無力症
16. Volume-based procurement : 数量ベース調達
17. Vaccines & Immune Therapies : ワクチン・免疫療法
18. バキスゼブリアは、当社がアストラゼネカ COVID-19 ワクチンを供給するためのアストラゼネカの商標です。本報告書の財務表では、「Vaxzevria Total Revenue」には、独自の商標でアストラゼネカ COVID 19 ワクチンを製造・供給するサブライセンシーからの提携収益が含まれています。
19. National reimbursement drug list : 国家償還医薬品リスト
20. Table 2 中、「+／-」の記号は、議論されている項目の影響度の方向性を示しています。例えば、研究開発費に関する項目の横に「+」の記号がある場合、その項目が前年度に比べて研究開発費を増加させたことを意味します。
21. 売上総利益は、総売上高から売上原価を差し引いたものと定義されています。売上総利益の算出にあたっては、共同販促収入及び関連費用の影響を排除しており、製品売上高の基礎的な業績を反映しています。
22. アストラゼネカが医薬品または新薬候補の重要な継続的権益を保有していない場合、売却による収益は、当社の財務諸表において報告対象及びコアのその他の営業収入及び費用に計上されています。
23. Germline (hereditary) breast cancer gene : 生殖細胞系（遺伝性）乳がん遺伝子
24. Homologous recombination deficiency : 相同組換え欠損症
25. Human epidermal growth factor receptor mutant : ヒト上皮成長因子受容体変異体
26. Chronic kidney disease : 慢性腎臓病
27. Atypical haemolytic uraemic syndrome : 非定型溶血性尿毒症症候群
28. Neurofibromatosis type 1 plexiform neurofibromas : 神経線維腫症 1 型叢状神経線維腫

- 29. Heart failure with preserved ejection fraction : 駆出率が保持された心不全
- 30. Neuromyelitis optica spectrum disorder : 視神経脊髄炎スペクトラム障害
- 31. Head and neck squamous cell carcinoma : 頭頸部扁平上皮がん
- 32. Eosinophilic esophagitis : 好酸球性食道炎
- 33. 提携収益（以前は売上総利益の分配と呼ばれていました）は、アストラゼネカが利益分配を受ける権利を有する提携契約から生じる収益で、アストラゼネカがある地域における製品化を主導する製品売上は含まれません。提携収益は、Collaboration Revenue に含まれています。

アストラゼネカについて

アストラゼネカは、サイエンス志向のグローバルなバイオ・医薬品企業であり、主にオンコロジー、希少疾患、循環器・腎・代謝疾患、呼吸器・免疫疾患からなるバイオ・医薬品において、医療用医薬品の創薬、開発、製造およびマーケティング・営業活動に従事しています。英国ケンブリッジを本拠地として、当社は100カ国以上で事業を展開しており、その革新的な医薬品は世界中で多くの患者さんに使用されています。詳細については <https://www.astrazeneca.com> または、ツイッター [@AstraZeneca](https://twitter.com/AstraZeneca)（英語のみ）をフォローしてご覧ください。

日本においては、主にオンコロジー、循環器・腎・代謝、呼吸器・免疫疾患およびワクチン・免疫療法を重点領域として患者さんの健康と医療の発展への更なる貢献を果たすべく活動しています。アストラゼネカ株式会社については <https://www.astrazeneca.co.jp/> をご覧ください。フェイスブック [AstraZeneca.Japan](https://www.facebook.com/AstraZeneca.Japan) とインスタグラム [AstraZeneca](https://www.instagram.com/AstraZeneca/) / [アストラゼネカ](https://www.instagram.com/AstraZeneca/) もフォローしてご覧ください。